

どこの国がやるものであれ、戦争は嫌だと、国際秩序と平和を求める動きの中に、私も加われたらと願ひ、本書を書き始めた。本書では、ウクライナでの取材をはじめ、イラクやパレスチナでの取材、日本に逃げてきた難民の人々の取材、日本のジャーナリストの危機的な状況、そしていかに平和をつくっていくかなどを論じていく。読者の皆さんにも、最後のページまでおつきあいいただければ、筆者として幸いだ。